

秋号 むら塾だより

二〇二〇年
十一月五日発行
編集担当…土井佑夏

むら塾だよりは東大むら塾と地域の連携活動の一環として作成しています。



初めまして！文科一類一年の山中彰人（やまなかあきと）です。
10月に入ってやっと相川訪問をすることが叶い神子さんとお会いすることもでき、むら塾での活動を徐々に本格化していくことができるのではと期待に胸を膨らませています！一緒に掲載されている写真は先の相川訪問の際に撮った柿の写真で、この柿は後日とても熟した頃に美味しく頂きました。来年、また柿園にお邪魔することができたら良いなと思います。

さて、私は現在11月に行われる駒場祭での放映に向けて作成する動画（詳しくは駒場祭告知の記事をご参照ください）、「富津市のグルメ紹介」のリーダーを務めさせていただいています。精一杯取り組んで良い動画にしますのでぜひ駒場祭当日はご覧ください！！

こんにちは。理科一類1年の谷口侑（たにぐちゆう）です。
先日、友人が訪ねて来たときに、富津市竹岡地区発祥のご当地ラーメンである『竹岡式ラーメン』を振る舞いました。

竹岡式ラーメンの大きな特徴は、鶏ガラなどを煮込んでスープを取る一般的なラーメンと違って、チャーシューのつけダレをお湯で割ってスープにすることです。だからと言って、うま味がな



いわけではなく、豚のうま味が溶け込んだ美味しいスープが出来上がりました。
今回は、チャーシューの煮込み時間を長くにとって、醤油を少し焦がしました。スープを飲むと焦がし醤油の香ばしい風味が広がります。トッピングはぜひ、たっぷりのチャーシューと刻んだ生の玉ねぎを。（今回作ったときは玉ねぎが固くて辛かったので電子レンジで軽く温めました。）

いつか本場の竹岡式ラーメンも食べてみたいです。

08. 編集後記

この1年間むら塾だよりの編集を担当させていただきました、文学部社会学専修課程3年の土井佑夏（どいゆうか）です。平素よりむら塾だよりをご愛読いただき心より感謝申し上げます。今年度は地域の皆様との交流が制限される中でも、皆様に私たちを身近に感じていただけることを目標に紙面づくりに取り組んで参りました。

今回の冬号から編集担当は交代いたしますが、今後も東大むら塾の活動を発信して参ります。読者の皆様、ご協力いただいた皆様、1年間誠にありがとうございました。引き続きむら塾だよりをよろしくお願い致します。




01. 前代表挨拶

菊の花薫る時節でございますが、相川・梨沢地区の皆様方におかれましては何かがお過ごしでしょうか。先月まで東大むら塾代表を務めておりました文学部西洋史学専修課程3年の藤枝望音（ふじえだもね）です。

9月から農作業や1年生に向けた活動拠点の案内など地域の皆様と接触せずにできる活動を再開しました。しかし、活動の根幹となる地域連携活動は皆様方との交流なくしては不十分であるということを考えると忸怩たる思いがあります。感染拡大防止と地域連携活動の深化という難しい2つの目標を両立させるために今後も後輩たちとともに考えて参ります。

そのような状況の中で、むら塾は代替わりの時期を迎え、11月より新代表である井上太喜のもとで新体制をスタートさせました。振り返ると今年度は稲作をはじめとしてむら塾にとって大切な多くの活動を断念せざるをえませんでした。その中で一貫して活動できなかったことに関して大変残念に思っております。今後は井上をはじめ後輩たちが活動の中心とはなりますが、少しずつ活動を再開させていく中で、私も可能な限り参加することができれば嬉しいです。1年間お世話になりました。今後ともよろしくお願い申し上げます。

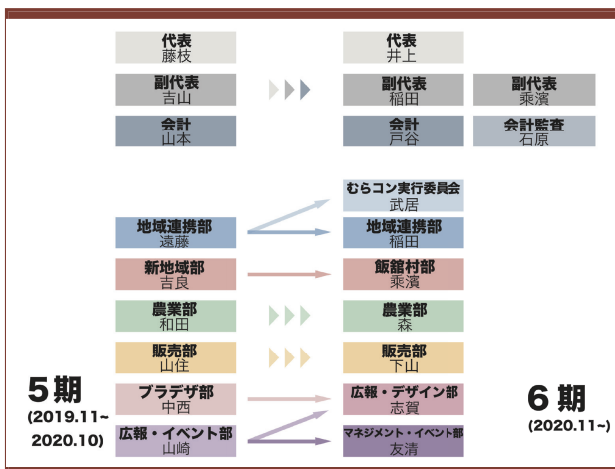
東大むら塾は
SNSでも情報を
発信しています

 <http://www.facebook.com/todaimurajuku/>
 http://twitter.com/todai_murajuku
 <http://www.instagram.com/todai.murajuku/>
公式ホームページ <http://todai-murajuku.com>

02. 新代表挨拶

今月より東大むら塾の代表に就任しました、理科二類2年(農学部生命化学・工学専修内定)の井上太喜(いのうえたいき)と申します。

東大むら塾の相川・梨沢地区での活動は、今年で6年目を迎えました。地域での活動をますます発展させていこうとしていたところでしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で今春より地域への訪問や対面での活動の自粛を強いられ、皆さまとの円滑なコミュニケーションを取ることができずご迷惑をおかけしました。「農業×地域おこしで、むらの未来を変える」という東大むら塾のスローガンに則った活動も十分に行えたとは言いがたい半年間でしたが、この期間をむら塾のこれまでの活動を見直し新たな形を模索する機会として前向きに捉え、様々な話し合いを重ねて参りました。現在の状況が大きく好転することは暫くの間考えにくく、今後も様々な制限の中での活動が予想されますが、このような状況だからこそできることにむら塾一同全力を尽くして参りますので、何卒よろしくお願いたします。



さて、活動の拡大に伴う前年度の体制の負担の偏りなどを解消すべく、組織体制の再編成を行いましたので、前体制からの変更点に関してご紹介いたします。

新設の広報・デザイン部は従来の広報・イベント部の広報の役割とブランドデザイン部の役割を兼ね備えた部です。マネジメント・イベント部は主に東大むら塾内部の行事の運営を担当

する部として設置しました。副代表にはむら塾の特に重要な活動地域である相川・梨沢地区と飯館村との連携を主に担当する2名が就任いたしました。

日頃の皆様のご支援に感謝致しますとともに、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

03. 新幹部挨拶

副代表・地域連携部長

平素よりご支援を賜わり、心より感謝申し上げます。この度東大むら塾の副代表兼地域連携部長を務めることになりました、理科一類2年(理学部地球惑星環境学科内定)の稲田栞里(いなだしおり)と申します。

今年度に入り、新型コロナウイルスの影響を受けて恒例の寺子屋企画や相川祭礼への参加が取りやめとなるなど、相川・梨沢地区とむら塾の連携活動にとって困難な状況が続いております。地域連携部では、引き続き感染対策に十分留意した上で、新しい試みも取り入れつつより良い連携のあり方を検討して参る所存です。連携活動のさらなる充実化に向け精一杯励んで参りますので、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



副代表・飯館村部長

今秋より副代表と飯館村部長を兼務させていただきます文科二類2年(工学部電子情報工学科内定)の乗演駿平(のりはましゅんぺい)と申します。

100人近い規模にまでなりました弊団体は、昨年度より飯館村での活動も開始し2年目に入っております。これまでの相川・梨沢地区での活動において培ってきた知見を存分に活かし、被災地としての側面が大きいながらも多くの共通点を持つ飯館村における活動を進めております。

このような状況下だからこそ、地域の皆さまとつながりを持ち続け、さらに強めてまいりたいと思っております。今後ともよろしくお願い申し上げます。



会計



会計担当に就任致しました理科一類2年(工学部建築学科内定)の戸谷祐登(とたにゆうと)と申します。私たち東大むら塾の活動における会計業務の重要性を認識し、安定した活動を維持するために金銭面から支えていけるよう努力して参ります。むら塾の地域での活動をよりよいものにしていくために、活動についてのご意見を伺うなど様々な点において地域の皆様のお力をお借りする場面があると思いますが、新しく会計監査に就任致しました石原と共に何卒よろしくお願ひ致します。

会計監査



新しく設けられた役職である会計監査に就任しました、文科一類2年(法学部内定)の石原威(いしはらたける)です。会計の仕事に遺漏がないかをしっかりと点検し、活動をより滞りなく進められるよう、東大むら塾を支えていきたいと思ひます。2年生ながら1年生同様今春むら塾に入ったばかりで、色々と至らないところが多い僕ですが、会計の戸谷をしっかりとサポートしつつ、他の幹部たちとも協力して頑張っています。よろしくお願ひいたします。

むらコン責任者



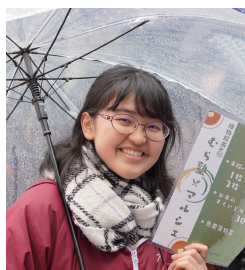
むらおこしコンテスト in ふつつの責任者に就任いたしました理科二類2年(教育学部教育心理学コース内定)の武居悠菜(たけいゆうな)と申します。今年2月に開催された第1回むらコンでは、地域の皆様から多大なるご支援・ご協力を賜りまして、誠にありがとうございました。コロナ禍にある今こそ、新しい試みを取り入れながら、地域の皆様にとって第2回むらコンが実り多きものとなるよう、尽力させていただき所存です。今後ともご指導・ご鞭撻の程よろしくお願ひ申し上げます。

マネジメント・イベント部長



マネジメント・イベント部の部長に就任しました、理科二類2年(工学部システム創成学科内定)の友清雄太(ともきよゆうた)と申します。マネジメント・イベント部は新設された部署で、東大むら塾の総務やイベント関連を統括します。私は、中止になった春の田植え合宿担当だったこともあり、コロナ禍で相川・梨沢地区の皆さまと交流できないことにもどかしさを感じています。まずは、この状況でも取り組めることを探していきたいと思ひます。疫禍が収まり、一日でも早く、様々な形で皆さまと交流ができる日が来ることを楽しみにしています！これからよろしくお願ひいたします。

販売部長



販売部の部長に就任いたしました、理科二類2年(医学部健康総合科学科内定)の下山結衣(しもやまゆい)です。主にふるさと納税、学園祭・富津市花火大会の企画運営を担当します。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で稲作の中止、学園祭のオンライン化などがあり、例年とは違う形で活動せざるを得ない状況となっています。このような状況下でも、学園祭という機会を利用して、東大むら塾の活動そして相川・梨沢地区や飯館村のことをより多くの方に知ってもらえるように活動を進めてまいります。これまで以上に他の部と協力しながら、今できる限りのことを行っていかうと思ひます。今後ともよろしくお願ひいたします。

農業部長



農業部長を務めることになりました、理科二類2年(工学部システム創成学科内定)の森駿介(もりしゅんすけ)と申します。農業部では相川・梨沢地区の耕作放棄地を利用した稲作で、富津のブランド米「てとて」を育てたり、お借りした畑で野菜栽培を行い学園祭に出品したりしております。今年度は感染症の影響により定期的な訪問が望めず活動が行えておりませんが、状況を鑑みつつ今後の再開に向けて努力してまいります。農作業におきましてはまだまだ不慣れな点もあるかと存じますが、地域の皆様のご指導のほどよろしくお願ひ申し上げます。

広報活動・デザイン部長



新たに広報活動・デザイン部の統括を務めさせていただきます、文科三類2年(農学部国際開発農学専修内定)の志賀智寛(しがちひろ)と申します。日頃よりむら塾の活動にご支援いただきありがとうございます。この部署では、相川・梨沢地区やむら塾の広報活動、また新しいブランド開発などに取り組む予定です。コロナ禍で現地訪問が制限されている状況ですが、SNSを通じた広報活動など、今できることをしっかりと進めて参りたいと考えている次第です。皆様と再びお会いできます日を楽しみにしております。今後とも何卒よろしくお願ひ致します。冷え込む日も増えてまいりましたので風邪など召されませぬようどうぞご自愛ください。

04. 栗山町報告



栗山町企画を担当しております、理科二類2年(理学部化学科内定)の米田羅生と申します。今年度は例年9月初旬に実施している栗山町研修が実施不可能となってしまいました。北海道に位置する栗山町は東京との距離が大きく、年に一度の研修がなくなると、栗山町の方々の繋がる機会というのは一気に失われてしまいます。そこで、昨年までに持った関係性を維持するために8月の中旬に栗山町の農業公社の方、農家の方をお呼びしてのオンライン座談会を開催し、新規就農を通じた地方移住について活発に議論を行いました。その後、座談会に参加していただいた栗山町で牧園を運営されている方から、農村の魅力を発信するような企画をむら塾メンバーと議論したいとお誘いがあり、現在ミーティングを進めている最中です。現地に行くことが難しくなった一方で、会議のオンライン化は急速に進みました。これを十分活用して、今まではできなかった、栗山町と「日常的に」繋がるということを重視し、活動を進めていきます。

05. 五月祭報告

先月まで販売部長を務めさせていただいておりました、法学部3年の山住友利恵(やまづみゆりえ)です。2020年度五月祭の報告をさせていただきます。

今年度は五月祭が9月に延期となり、さらにオンライン開催という初めての開催形態になったことに伴い、東大むら塾も動画配信企画を実施することとなりました。販売部の1、2年生が中心となり7本の動画を投稿し、多くの方に視聴して頂きました。

初めは五月祭期間のみの掲載を予定しておりましたが、大変喜ばしいことに予想以上に再生回数が伸びたこともあり、当初の予定を変更して五月祭終了後も掲載を続け、今後はNG集なども投稿していく予定です。

同じくオンライン開催となった駒場祭では更にレベルアップした動画を作っていく予定です。ぜひご覧ください。今後とも文化祭企画をよろしくお願い致します。



06. 駒場祭告知

東大むら塾の駒場祭企画責任者を務めております、文科三類1年の鎌倉啓伍(かまくらけいご)と申します。五月祭に続いて駒場祭もオンラインの開催となり、例年の駒場祭で好評をいただいた米粉パンケーキや地域の皆さまの野菜などの販売は断念せざるを得なくなりました。対外的な活動が大きく制限されている今の状況でも、オンラインで何とかむら塾の活動拠点となっている地域のPRができないかと考え、以下に挙げる動画を作成し、駒場祭で公開することといたしました。

千葉県富津市のPR動画

- ① むら塾生が相川・梨沢地区に訪問する1日の様子
- ② 富津市の観光スポットの紹介
- ③ 富津市のグルメの紹介

福島県相馬郡飯館村

- ① 昨年度の訪問で撮りためた写真のスライドショー
- ② まだ再開したばかりの今年度の訪問の様子

今回の駒場祭企画の特徴は、1年生が企画の中心メンバーとして動いている点です。むら塾生として未熟な面も多々ありますが、ミーティングを重ね、1年生同士で様々な案を出しながら、そして時には先輩の力をお借りしながら、動画の作成を進めております。完成した動画へのリンクは、駒場祭当日(11/21(土)~11/23(月))、駒場祭の公式サイト上で公開されます。ぜひご覧ください!

07. 新入生日記

今年度むら塾に入会した7期のメンバーに活動の体験記や日常の記録を寄せてもらいました。地域の皆さまとお会いできるのはまだ先のこととは存じますが、これからよろしくお願いたします。

はじめまして。文科二類2年(経済学部内定)の西村航(にしむらわたる)です。

僕は10月4日に初めて相川訪問をしました。午前中は売津の拠点や天神山小学校、天羽城など相川地区周辺の様々なところを先輩方に案内していただき、その場所の説明などを受けました。午後はむら塾の田んぼや畑において、草刈機を用いて、みんなで畑の周囲の草を刈りました。僕は草刈機を用いるのが初めてだったので、最初はエンジンが掛けられなかったり上手く刈れなかったりなど大変でしたが、だんだんコツをつかんでいって、最後は一人前の正雄になることができました(笑)

相川はのどかな雰囲気でも最高でしたし、一緒に行ったメンバーとも仲良くなれたので、次の訪問が楽しみです。

